

Intel® PRO/Wireless 2011 LAN アクセス・ポイント (Access Point: AP)、
PC カードおよび PC キャリアを導入する前に、必ずお読みください。

最新ニュース

2001 年 1 月

サポートおよびドライバについては、
<http://support.intel.co.jp>
をご覧ください。

Intel® PRO/Wireless 2011 LAN アクセス・ポイントを操作するための手順

アクセス・ポイント (Access Point: AP) を操作するには、以下の 3 つの方法があります。

直接シリアル接続

1. PC のシリアル・ポートと AP の DB9 コネクタを通常のモデム用シリアル・ケーブルで接続します。
2. PC 上で Hyper Terminal または他のシリアル通信プログラムを起動します。
3. 該当する COM ポートを選択して、以下のパラメータを指定します。
 - ANSI エミュレーション
 - ボー・レート 19200bps
 - 8 データ・ビット
 - 1 ストップ・ビット
 - パリティなし
 - フロー制御なし
4. ESC キーを押して、AP メイン・メニューを表示します。

注: ケーブルは、ヌル・モデム・ケーブル (両端 9 ピンのもの) を使用してください。また、PC 通信ポートに空きがあることを確認してください。

Telnet

1. MS-DOS プロンプト (またはコマンド・プロンプト) から、「Telnet xxx.xxx.xxx.xxx」と入力します (xxx.xxx.xxx.xxx は AP の IP アドレス)。AP の IP アドレスを調べるには、この資料の「よくある質問」の項をご覧ください。
2. デフォルトの管理パスワードを入力します。デフォルトの管理パスワードを調べるには、この資料の「よくある質問」の項をご覧ください。
3. ESC キーを押して、AP メイン・メニューを表示します。

内蔵の Web サーバ

インターネット・ブラウザを起動して、アドレス・ボックスに AP の IP アドレスを入力します。AP の IP アドレスを調べるには、この資料の「よくある質問」セクションをご覧ください。

注: ご使用のコンピュータの IP アドレスが同じサブネット上にあるか、または、AP が接続されているサブネットにゲートウェイを介してアクセスできるかを確認してください。また、プロキシの設定が正しいかも確認してください。

よくある質問

AP にデフォルトの IP アドレスはありますか？

工場出荷時に AP の DHCP のデフォルト設定は ENABLED (有効) になっています。DHCP サーバと接続されていない場合、AP にはデフォルトの IP アドレスが設定されます。AP の底面に PBA 番号が付いています。

PBA 番号が A26505-001 または A26507-001 の場合、デフォルトの IP アドレスは AP の MAC アドレスに基づきます。MAC アドレスは 12 桁の 16 進数で、本体の底面に貼ってあるラベルに印字されています。AP のデフォルトのアドレスを調べるには、Intel のサポート・サイトをご覧ください。

PBA 番号が上記の値でない場合は、192.0.2.1 がデフォルトの IP アドレスになります。

AP のデフォルトの管理パスワードは？

デフォルトの管理パスワードは、Intel (頭文字は大文字の I) です。

AP にアクセスできないときに、AP をリセットするには？

AP の電源を落として、DB9 コネクタの 2 番ピンと 3 番ピンをジャンパで接続します。この状態で電源を入れて、AP を完全に初期化します。次に AP の電源を落として、ジャンパをはずします。もう一度電源を入れると、AP は自動的にリセットされます。

マルチベンダ WLAN 環境で AP を設定する

マルチベンダ WLAN 環境では、Intel および他社の WLAN 製品が混在しています。Short Preamble Headers に対応していない他社の WLAN アダプタを使用している場合は、Intel AP の short RF Preamble Setting を無効にします。short RF Preamble Setting を無効にするには、AP メイン・メニューにアクセスして、[RF Configuration] を選択します。画面をスクロールして [Short RF Preamble] が表示されたら、これを無効にします。

WEP Strong Encryption (128 ビット) を有効にする

北米地域の AP は、WEP Strong Encryption を有効にして出荷されます。北米地域ではない AP は、WEP Strong Encryption を無効にして出荷されます。WEP Strong Encryption を有効にするには、AP メイン・メニューにアクセスして、[RF Configuration] を選択します。[Enable Strong Encryption] を選択したら、コードに INTC-6000050-8348500 を入力します。



出荷時の設定に戻す

設定が不適切で AP が通信できない場合は、出荷時のデフォルト設定に戻します。設定を元に戻すと、DHCP の設定に基づく AP の設定値および統計データがすべてクリアされます。出荷時のデフォルト設定については、表 1 をご覧ください。

出荷時の設定に戻すには、以下のようになります。

1. ネットワーク経由で AP と接続します。AP メイン・メニューが表示されます。
2. AP メイン・メニューから、[Special Functions] を選択します。
3. [Restore Factory Configuration] を選択します。AP の設定情報がすべて消去され、出荷時の設定に戻されます。

注意：ラベル（この機器の使用上のご注意）について

同梱してあるラベル（この機器の使用上のご注意）はよく見える場所に貼ってお使いください。なお、このラベルは PCI キャリアには付属しておりません。

トラブルシューティングのヒント

ワイヤード・ネットワーク接続という点を除き、Intel® PRO/Wireless 2011 LANPC カードは、モバイル・ネットワーク・アダプタに似ています。モバイル・ネットワーク・アダプタに適用できるトラブルシューティングの手法は、PC カードにも応用できます。

PC カードで AP と通信するには、以下の条件が必要です

- AP と PC カードの ESS ID が同じであること。
- AP の WEP 暗号オプションが有効になっている場合は、PC カードも WEP 暗号オプションに対応していなければなりません。また、AP と PC カードの暗号キーは同じでなければなりません。

注：マルチベンダ WLAN 環境では、Short RF Preamble Setting を正しく設定する必要があります。詳しくは、この資料の「マルチベンダ WLAN 環境で AP を設定する」をご覧ください。

最新ニュース

3 ページ

表 1: AP: リセット動作、手順、および影響を受けるパラメータ

	手順	Easy Setup/AP インストール画面	設定	ACLおよび フィルタ・ リスト	パスワード	統計データ
リブート/リセット	電源を切って入れ直す、または、 1. AP メイン・メニューにアクセスする。 2. [Special Functions Menu] を選択する。 3. [Reset] を選択する。	×	×	×	×	
出荷時のデフォルト設定に戻す (DHCP が有効の場合)	1. AP メイン・メニューにアクセスする。 2. [Special Functions Menu] を選択する。 3. [Restore Factory Defaults] を選択する。	×		×		
出荷時のデフォルト設定に戻す (DHCP が無効の場合)	1. AP メイン・メニューにアクセスする。 2. [Special Functions Menu] を選択する。 3. [Restore Factory Defaults] を選択する。			×		
ハードウェアをリセットする (DHCP が有効の場合)	1. 電源を切る。 2. シリアル・ポート・コネクタの 2 番ピンと 3 番ピンをジャンパで接続する。 3. 電源を入れて AP を初期化する。 4. 電源を切ってジャンパをはずす。	×		×		
ハードウェアをリセットする (DHCP が無効の場合)	1. 電源を切る。 2. シリアル・ポート・コネクタの 2 番ピンと 3 番ピンをジャンパで接続する。 3. 電源を入れて AP を初期化する。 4. 電源を切ってジャンパをはずす。			×		

Copyright © 2001, Intel Corporation. All rights reserved.
Intel Corporation, 5200 N.E. Elam Young Parkway, Hillsboro, OR 97124-6497

Intel Corporation は、本資料に誤りや脱落があっても、その責任は負いかねます。また、本資料の情報もそれを必ず更新することを保証するものではありません。

* その他の製品名や会社名は各社の商標です。本資料では、単なる説明および所有者の利益を目的としてこれらを使用しており、各社の権利を侵害する意図を持つものではありません。